

## ヴァイオリニストTAIRIKUの戯言

〔第11回〕

## 弦が揺れると、僕は季節の風になる

+ 文 佐田大陸 Text by Tairiku Sada +

只今、作曲期間。悶々としている  
33歳

人間には「松果体」という器官があるのをご存知ですか？

松果体は身体のリズムを整えたり、安定した睡眠に欠かせないメラトニンを分泌します。また、フランスの哲学者デカルトは、松果体は脳の真ん中奥深くにあることから、とても特別な器官と考えました。生涯にわたりこの松果体を研究し、「魂のありか」と信じました。

人間の「第三の目」とも言われ、発達すると異世界に精神が繋がったり、テレパシーが使える、などと信じている人もいます。オカルトじみた話ですが、実際松果体は幼少期には大きく発達していて、5歳くらいをピークにどんどん小さくなっていくらしい。もしそれが霊的な直感とリンクしていたとしたら、子どもの頃本来そこにはないものが見えて、大人になつたら見えなくなる、なんてよく聞く話に妙に説得力が出てきます。

そこでピンと閃いたのが、「これはもしかや、作曲をする上でも松果体の存在デカイのでは!？」ということ。

よくアーティストの発言で、「メロディが降りてきた」とか「天に書き残された」とか聞きますが、歴史に名を残している、バッハやベートーヴェンの松果体はもしかして尋常じゃないくらい発達していたんじゃないか？神童と言われて、死ぬまで天真爛漫で子どもようだったモーツァルトのそれは果たしてどれほどのものだったのだろうか、と想像が膨らみます。

「そうか、自分がこんなに作曲に苦しむのは、松果体がちゃんと機能していないからだ」と、どうにか責任を松果体に転嫁し、色々調べてみたら、衝撃の事実がわかりました。なんと現代人の松果体はほとんど石灰化していて使えなくなっているという。

虫歯を予防する効果と知られているフッ素が、実は松果体にとって猛毒で、現代人の松果体はX線で写すと白く石灰化していて機能していないらしいです。また、日本が群を抜いて世界ナンバーワンの量を誇っている食品添加物も、松果体を鈍化させる原因になるみたいです。自分はコンビニが大好きだし、知らず知らずのうちに沢山添加物を摂っています。フッ素、カルシウム、

水銀がとても松果体に悪く、逆にケイ素やクエン酸を摂ったり太陽の光を浴びると、松果体を活性化させてくれるらしいです。

「食生活を見直して、松果体を鍛えなおそうかな」という気分になります。とまあ、あれこれとブツブツ言って現実逃避したくなりますが、そろそろ作業に戻りたいと思います。

もし良い曲が生まれたら「あいつ松果体活性化させたな」と心の中でニヤッとほくそ笑んでやってください。



## profile

2010年3月に桐朋学園大学音楽学部大学院を修了。  
2ヴァイオリンとピアノのアンサンブル・ユニット「TSUKEMEN」のヴァイオリニストでリーダー。  
2010年キングレコードからメジャーデビュー。  
結成9年目にして450本以上の公演を海外や日本全国各地で開催、現在までにのべ35万人を動員している。